

損保ジャパン記念財団 NEWS

- 損保ジャパン記念財団賞 講演会・シンポジウムを開催
- 自動車購入費助成 助成金の贈呈先決定
- 損保ジャパン記念財団が参加・支援した活動
- 財団からのお知らせ

発行者 公益財団法人損保ジャパン記念財団

〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1 損保ジャパン本社ビル TEL: 03-3349-9570 FAX: 03-5322-5257

http://www.sj-foundation.org/ Eメール: sjf3340@sj-foundation.org

2014

Vol. 2

第15回損保ジャパン記念財団賞 講演会・シンポジウムを開催しました

9月20日（土）東京都千代田区のグランドアーク半蔵門にて、「損保ジャパン記念財団賞[※]」の受賞記念講演会、シンポジウムを開催しました。研究者や学生、企業・各種団体の担当者など120名の方にご参加いただきました。

※「損保ジャパン記念財団賞」は社会福祉分野における優れた社会福祉学術文献を表彰する制度です。社会福祉の学問的探求を志向する多くの学者、研究者の研究意欲を促進し、社会福祉の発展に寄与することを目的としています。

まず第Ⅰ部では、「損保ジャパン記念財団賞」の受賞者、水島治郎氏（千葉大学法政経学部教授）が、受賞著書「反転する福祉国家—オランダモデルの光と影—」について講演されました。参加者からは、先進的な福祉国家と言われるオランダの「光」の部分と、移民労働者を排除するなどの「影」の部分について分かりやすくお話しいただき、興味深かった。オランダなどの小国モデルは、現在の日本を考える上で大変参考になる内容で、もっと詳しく聞いてみたかった。また水島氏の熱意ある発言に触れ、これからのますますのご活躍を期待します。といった声が多く寄せられました。



シンポジウム



水島治郎氏

続けて第Ⅱ部では、シンポジウム「日本での障害者のソーシャルインクルージョンの課題と展望—国連の障害者権利条約への批准をふまえて—」をテーマにパネルディスカッションを開催しました。国連の「障害者の権利に関する条約」の批准を踏まえたタイムリーなテーマであり、3名のパネリストそれぞれの立場からの発表は、今後のソーシャルインクルージョンを考えるヒントになりました。参加者からは、小澤氏の日本の障害者施策や支援についての展望、尾上氏の当事者の立場から批准に関わる中で明らかになってきた課題、炭谷氏の特に日本が遅れているとされる障害者の就労支援についての課題の発表をき

きながら、ひとりひとりが人間として尊重される社会をどう作っていけるのか考えさせられた、尾上氏の「Nothing about us without us! (私たちのことを、私たち抜きに決めないで)」、水島氏の「Think globally, act locally (地球規模で考え、足元から行動しよう)」などのキーワードが印象に残ったなどの感想が聞かれました。

【シンポジウムにご参加いただいた皆様】

- コーディネーター：白澤政和氏（桜美林大学大学院老年学研究科教授）
パネリスト：小澤 温氏（筑波大学大学院人間総合科学研究科教授）
尾上浩二氏（DPI「障害者インターナショナル日本会議」副議長）
炭谷 茂氏（社会福祉法人恩賜財団済生会理事長）
コメンテーター：水島治郎氏（千葉大学法政経学部教授）

シンポジウム後には、懇親会が開催され、登壇者と参加者が和やかに歓談されました。



懇親会

自動車購入費助成 助成先を決定しました

2014年度自動車購入費助成金として、障害者に対する福祉活動などを行う10団体を対象に、合計1,000万円の助成を決定しました。

自動車購入費助成は、障害者に対する福祉活動を行う団体にとってニーズが高い自動車購入の資金を支援する事業です。今年度は、募集対象を西日本地区（滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山・鳥取・島根・岡山・広島・山口・徳島・香川・愛媛・高知・福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄）として、2014年6月から7月にかけて公募したところ、177件の応募をいただき、以下の10団体に助成を決定しました。損保ジャパン記念財団では1999年に自動車購入費助成を開始し、昨年度までの15年間で、助成先は累計153団体、助成額は合計約1.5億円となりました。助成先は以下のとおりです。

2014年度 自動車購入費助成 助成先一覧

所在地	団体名	主な事業 ※事業の一部をご紹介します	代表者（敬称略）	助成金額(予定)万円
京 都 南 丹 市	特定非営利活動法人 発達障害を考える会ぶどうの木	放課後等のデイサービス事業による、児童の自立支援	西田 香代子	100
大 阪 大 塚 市	特定非営利活動法人 びーす	エンパワメント支援を行う児童発達・放課後等デイサービス	小田 多佳子	100
兵 庫 高 砂 市	特定非営利活動法人 タンポポ福祉会	就労継続支援B型（非雇用型）での菓子製造、内職、施設外就労	古 田 政 吉	100
岡 山 岡 山 市	特定非営利活動法人 杜の家	農業と福祉の連携による専業農家指導の就労支援	大 森 浩 史	100
高 知 高 知 市	特定非営利活動法人 るーちえ	障害者の就労および余暇活動の支援	楠 目 泰 夫	100
福 岡 福 岡 市	特定非営利活動法人 クックルー・ステップ	障害児の障害福祉サービスや放課後等デイサービス	古 賀 裕 子	100
長 崎 対 馬 市	特定非営利活動法人 Brighter Steps	障害児の個々の特性に応じた、自立に向けての療育支援	宮 野 伸 枝	100
鹿 児 島 鹿 児 島 市	特定非営利活動法人 ビッグハート	地域の障害者などの自立のための就労支援	大 迫 小 由 美	100
鹿 児 島 志 布 志 市	特定非営利活動法人 愛訪会	企業からの委託作業等による障害者就労継続支援	諏 訪 直 文	100
沖 縄 那 覇 市	特定非営利活動法人 沖縄県脊髄損傷者協会	ピアサポートによる相談活動とUD（ユニバーサルデザイン）社会に向けたアクション	仲 根 建 作	100

※助成金の贈呈式は、損保ジャパン日本興亜の各地区本部または支店が助成先団体にて、開催する予定です。

損保ジャパン記念財団が参加・支援した活動

《第23回ボランティアフェスティバル岐阜に参加》

『おいでよ志（みんな）大地（ちいぎ）を潤す清流となって』をテーマに9月27日、28日に岐阜市で開催された『全国ボランティアフェスティバル三重』の企画・運営に、主催団体のひとつの「広がれボランティアの輪」のメンバーとして協力しました。安全・安心で豊かな地域づくりなどをテーマに、全国から集った2000人あまりの参加者による活発な議論と交流がなされました。

《チャリティーコンサートに助成》

公益財団法人日本産業退職者協会主催の創立30周年を記念したチャリティーコンサートが10月4日に東京で開催されました。このチャリティーコンサートには、福祉施設の300名様が招待されており「家族への愛」をテーマにプロによる演奏と一緒に楽しみました。



☆☆財団からのお知らせ☆☆

★2015年4月に当財団と合併する（公財）日本興亜福祉財団の長谷川春江さんに財団の事業についてお聞きしました。

（公財）日本興亜福祉財団は、高齢化社会における高齢者福祉の増進に貢献することを目的としています。助成事業の一つである、ジェロントロジー（老年学：老化と高齢者に関する諸問題を研究する学問）研究助成の今年度の助成先18件が、10月8日開催の選考委員会で決定しました。同助成事業は、1993年にスタートし、隔年実施でこれまでに201件の助成を行ってきています。我が国の65歳以上の高齢者人口は、1950年には総人口の5%未満であったものが、現在は25%以上となり、2035年には33%を超え3人のうち1人が高齢者となると予想されており、ジェロントロジーに関する研究助成及び研究者の育成は、益々重要になってきています。

★「福祉マネジメント研究会 第2回シンポジウム」を開催します。

2015年3月23日（月）に「福祉ニーズ解決型社会起業家の育成」をテーマにしたシンポジウムを開催します。申込み方法など、詳細は当財団HP（<http://www.sj-foundation.org/>）をご覧ください。